

研究公開用文書

研究名：

分子生物学的手法を用いた感染菌同定の検討

研究の概要：

細菌感染症では予後の悪化を防ぐ為に早期の適切な抗菌薬選択が重要であり、血流感染症においてはより迅速性を要する。抗菌薬選択には菌種の同定、薬剤感受性検査が必須である。しかし、従来の検査方法としての培養検査では、血液培養が陽転するまでに約 15 時間時間を要し、さらに同定検査、薬剤感受性検査におよそ 3～4 日とかかるため、結果が判明するまでに時間を要してしまう場合がある。このため、より迅速な検査方法の開発が望まれている。さらに、抗菌薬の先行投与がある場合では、血流感染症にもかかわらず血液培養が陽転しない場合がある。ここで今回、我々は短時間で DNA の増幅、検出が可能である Real-time PCR などの分子生物学的手法を用いることで血液培養の偽陰性を避け、培養困難な菌種、培養に時間を要する菌種を短時間で検出することを目的に今回の研究を企画した。細菌の有無や菌種の推定が通常の培養と比べ、どの程度短時間行えるか、早期治療に貢献できるかを検討する。

研究対象：

医生物検査室へ提出された細菌感染症、もしくはその疑いのある検体を対象とする。検体被採取患者の年齢、性別、疾患は問わない。

研究責任者：

横浜市立大学附属病院

所属：臨床検査部 氏名：友山 瑛人

研究実施期間：

平成 27 年 9 月 7 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日

連絡先：

横浜市立大学附属病院

所属：臨床検査部

〒：236-0004

電話：045-787-2800

氏名：友山 瑛人

住所：横浜市金沢区 3-9